

トビラシステムズ株式会社

愛知県名古屋市

生産性向上

サービス

代表自身の経験がもととなったサービス開発 独自の強みを生かしたブルーオーシャンの開拓

同社は、代表の祖父が過去に迷惑電話被害にあったことをきっかけに、革新的なテクノロジーで迷惑電話問題などの社会課題の解決を目指し、人々が安心して暮らせる世界を実現したいとの想いで2006年に設立。迷惑電話番号や、迷惑メール情報、フィッシングURLなどを大量に収集して迷惑情報データベースを構築し、危険な電話やメッセージをフィルタリングする「迷惑情報フィルタサービス」を提供。固定電話、モバイルアプリ、ビジネス向け製品にサービスを展開し、利用者は国内で1,400万人を超える。

所在地 愛知県名古屋市中区錦2-5-12
パシフィックスクエア名古屋錦7階
電話/FAX 050-3612-2677 / 052-253-7692
URL <https://tobila.com/>
代表者 代表取締役社長 明田 篤

設立 2006年
資本金 31,574万円
従業員数 73人



参入障壁が高く、競合他社を寄せつけない独自ビジネスモデルを構築

同社では、これまでサービス利用者や警察など豊富な情報提供元から寄せられた膨大なデータを独自のアルゴリズム技術によって解析することで、約3万件の迷惑電話番号データベースを構築している。独自のアルゴリズムは14件の特許で保護されており、他社には模倣が困難な技術である。同社は、個人から企業まで幅広い顧客を抱えるが、モバイルや固定電話向けサービスでは国内大手キャリアのサービスにオプションパックとして導入することで顧客シェアを高め、他社の追随を許さない状況にある。



同社の扱う各種製品

持続的な競争力強化のための積極的な研究開発と人材投資

持続的な競争力の確保に向け、同社ではデータベース構築のための研究開発投資を積極的に行ってきたほか、フィッシング対策サービスの事業化に向けた研究投資および高収益化を推進している。また、従業員に対する資格取得や国内外で開催されるカンファレンスへの参加の機会の提供や、能力のある若手を抜擢しチャンスを与えたり、年4回のフィードバック制度を設けるなどの人事制度の継続的改善、従業員持株会制度の構築など、従業員育成のための仕組の構築と従業員の士気向上にも努めている。



働きやすさを重視したオフィス

高齢化社会の特殊詐欺問題をITテクノロジーで解決

近年、振り込め詐欺のような高齢者向けの詐欺被害が増加しており、高齢化社会を迎える我が国における深刻な社会問題となっている。同社の迷惑情報フィルタ製品は迷惑電話を自動検知し、シャットアウトするためこれらの問題への解決策として期待されている。引き続き大手通信キャリアと提携しながらモバイルや固定電話向けサービスのオプションパックとして販売することで、追加アプリケーションのインストールや機器の外づけが不要になるなどメリットがあり、高齢者の顧客の手間が軽減されるため導入も容易となる。



IoT&ビッグデータを活用

生産性向上

サービス